

1. 第2回 機関投資家のスチュワードシップ活動に関する上場企業向けアンケート集計結果公表

○GPIFの運用受託機関のスチュワードシップ活動に対する評価と「目的を持った建設的な対話」(エンゲージメント)の実態及び前回アンケートからの変化の把握を目的として、昨年に引き続き、上場企業向けにアンケートを実施し、集計結果を5月16日に公表(資料2-2)。

対象: JPX日経インデックス400構成銘柄企業

回答社数: 272社(前年260社)

回答率: 68%(同65%)

回答期間: 2017年2月7日~3月31日(同2016年1月6日~1月22日)

2. 第2回 企業・アセットオーナーフォーラム開催

○4月12日に「第2回 企業・アセットオーナーフォーラム」を開催。昨年9月1日の第1回開催に引き続き、スチュワードシップ活動をより適切に行うことができるよう、対象となる企業とアセットオーナーとの継続的な意見交換の場として活用。今回より、国家公務員共済組合連合会、地方公務員共済組合連合会、日本私立学校振興・共済事業団の3共済もアセットオーナーとして参加。サマリーを5月26日に公表(資料2-3)。

3. 第2回 グローバル・アセットオーナーフォーラム開催

○5月3日に米国ロサンゼルスで「第2回 グローバル・アセットオーナーフォーラム」を開催。海外公的年金と環境・社会・ガバナンス(ESG)についての意見交換、アセットオーナーとアセットマネージャーの利益の合致を図るベストプラクティスの共有等を目的として開催。

今回は北米を中心に13機関のアセットオーナーのCEO/CIOクラスでミーティングを実施。サマリーは準備出来次第、公表予定。